

平成25年度第10回理事会議事概要

日 時： 平成26年3月25日（火） 15：30～16：30

場 所： 特別会議室

出席者： 理事長	鈴木 和夫
理事（企画・総務担当）	城土 裕
理事（研究担当）	大河内 勇
理事（育種事業・森林バイオ担当）	井上 達也
理事（森林業務担当）	青木 庸三
理事（業務承継円滑化・適正化担当）	森下 眞行
監事	滑志田 隆
監事	西田 篤實
総括審議役	肥後 賢輔
総括審議役	安藤 伸博
審議役	渡邊 聡
企画部長	落合 博貴
総務部長	藤江 達之

1. 開会

2. 議事

順次、説明をお願いします。

(1) 平成26年度計画(案)について

(企画部長)

中期計画に基き、26年度計画の案を作成しました。基本的には、25年度計画の内容に、最近の研究環境を巡る変化や事業の改廃、情報セキュリティ対策の重点化等を踏まえて、各分野ごとの記述を追加・修正しています。

(理事長)

本件議題については理事会として了承されました。

(2) 当面の職員採用スケジュール(案)について

(総務部長)

研究職員及び一般職員の採用については、年間のスケジュールに基づき取り組んで行きたいと考えています。

(理事長)

研究・育種部門の公募開始時期が遅いように思いますが理由は何ですか？

(総務部長)

8月の概算要求を踏まえることと国家公務員の採用状況等を勘案して行うこととしているためです。

(理事長)

本件議題については、理事会として了承されました。

(3) 森林農地整備センター職員募集のお知らせ(案)について

(安藤総括審議役) <資料Ⅰ－1を説明>

別紙のとおり一般職員(技術系)の募集を開始します。なお、今年度の募集で研究職の採用と受け取って応募された方があったので、「2 職務の内容」欄に(注)を入れました。

(理事長)

本件議題については、理事会として了承されました。

(4) 森林総合研究所森林農地整備センター入札監視委員会の廃止について

(安藤総括審議役) <資料Ⅰ－2を説明>

森林農地整備センターの林道事業が廃止され、特定中山間保全整備事業も25年度で完了し、来年度以降入札監視委員会にかけられる案件が見込まれないため、本所入札監視委員会設置要領を改正してセンターの委員会を廃止し、本所の入札監視委員会に一本化することとします。

(滑志田監事)

入札監視委員会の設置の趣旨等を踏まえ、センターにおける公共事業の金額・件数等をチェックしましたが、事業が円滑に進行・完了したことが確認出来ました。

このような過程を通じて入札監視委員会が一定の役割を果たしてきたことを確認しましたので報告します。

(5) 邑智西部区域特定中山間保全整備事業の完工式について

(安藤総括審議役) <資料Ⅱ-1を説明>

3月8日に理事長及びセンター所長に出席いただき無事に完工式を終了しましたので報告します。

(青木所長)

別紙のとおり完工式が行われ、国会議員、知事、流域市町村長、関係者が出席して盛大に実施されました。今後、事業後評価も行いつつ成果が上がることを期待しています。

(6) 監事監査報告について

(西田監事) <資料Ⅱ-2のⅠを説明>

研究開発部門の監査結果について報告します。

重点課題、内部統制、入札契約、研究協力、男女共同参画及び支所の監査を実施しましたが、全体として特に問題はありませんでした。それぞれの取り組みを継続してしっかりやっていただきたいと思います。

ただ、情報セキュリティ対策に関しては、大量メール事案が発生し、これまでの対応に不備があったと判断されますので、今後しっかりとした対応を取っていく必要があると考えます。

それらも含めて、監事の所見欄に少し詳しく記述しています。

(滑志田監事)

森林・林業・木材産業に係わる研究開発独法として着実に使命を果たしていること、間伐等特措法の改正を受けた林木育種の取り組みも積極的に進められていることを評価しましたので、付言しておきます。

(滑志田監事) <資料Ⅱ-2のⅡを説明>

続いて公共事業部門の24年度の決算、同年度及び25年度の業務の監査結果について報告します。

契約の点検・見直し、保有資産の活用、給与水準の適正化、組織等の見直し、内部統制、コンプライアンス等につき、しっかり実施できていることを確認しました。広報についてはより一層の発信に努められたいと記しています。

24、25両年度は公共事業部門にとっては記念すべき年であり、農用地総合整備事業が24年度をもって事業完了したことを確認し、既設道移管円滑化事業は一部の工事を繰越していたものの平成25年度に移管完了したことを確認しました。また、特定中山間保全整備事業も25年度に完了見込みとなりましたが、邑智西部の現地監査が天候の関係で監査計画どおりに実施できなかったため、新年度に速やかに現地入りして事業の完了を確認したいと考えています。

全体として、業務運営の効率化が目標を上回る数値を達成し、着実に進んでいることを確認しました。各事業の執行状況も順調であり、水源林の長伐期施業の方向性や特定中山間保全整備事業の完了の意義について監事としての所見を記載しました。

(7) 独立行政法人、特殊法人等監事連絡会について

(滑志田監事)〈資料Ⅱ-3を説明〉

3月11日に開催され、内容の抜粋を別紙に記載しました。独立行政法人改革の論議の中で監事機能の強化が焦点の一つとなっており、具体的には監査報告の作成の義務付け、監事向けの研修の強化、会計監査人との連携強化等について、閣議決定された指針に基づき総務省から説明がありました。なお、監事連絡会はワーキンググループを設置して議論を続けており、その活動内容を4ページに付けています。独立行政法人側からの要望や意見を取りまとめ、制度改革に反映していく方針です。理事会の構成員としてご意見があれば、お寄せいただきたいと思います。

(肥後)

報告については以上です。その他も特にありませんので、これにて終了します。

次回の平成26年度第1回理事会は4月10日(木)に開催予定となりました。

3. 閉会